

## 倉紡記念館を改修

「G7倉敷労働雇用大臣会合」が4月22、23日に倉敷アイビースクエアで開催されました。そのエクスカージョンとして、G7参加国の大臣等が、同じ敷地内にある倉紡記念館を見学されました。このエクスカージョンに向けて倉紡記念館では、3月に新規の什器やパネルを設置するなど館内の改修を実施しました。

今回の大臣会合のテーマは「人への投資」であり、倉敷市より『クラブハウ第2代社長大原孫三郎が労働理想主義のもと従業員の教育をはじめ労働環境改善に取り組んだ歴史をぜひ紹介してほしい』との要望もあつたことから、第2室の孫三郎の紹介コーナーを拡充しました。

このコーナーは「孫三郎の人物紹介」、孫三郎が行った「従業員のための改善」「社内の労働環境改善」「地域社会への貢献」の四つのテーマで孫三郎を紹介。当時の貴重な写真を多く掲示することで来館者に興味を持って見てもらえるよう工夫を

しています。また、倉紡記念館をより詳しく説明したパネルの設置や、エントランスのディスプレイの変更、英文説明の追加なども行いました。

孫三郎は、時代の先を読み、労働理想主義を掲げ、約百年前に今でいうSDGsにも通ずる取り組みを実践した人物で、その思想や活動は、近年再評価されています。その一つとして、働く現場の歴史を後世に伝承することを目的に日本労働ベンクラブが創設した「日本労働遺産」に、1月、倉紡記念館の展示物の一部が認定されました。孫三郎の先見性やさまざまな取り組みは、現代の私たちにも勉強になることが多いと思います。

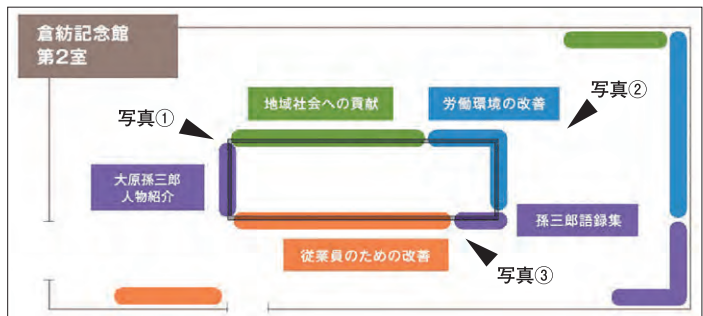
倉敷に來られた際は、ぜひ、倉紡記念館にお越しください。クラブハウグループの方は、無料で入館可能ですので、詳しい内容についてはコーポレートコミュニケーション課までご連絡ください。

(コーポレート  
コミュニケーション課

吉田 雅也 記



▲ エントランスをグラフィックで演出



▲ 第2室中央に、大原孫三郎紹介コーナーの什器を新設



▲ 大原孫三郎紹介コーナー (写真①)



▲ 労働環境改善の取り組みも紹介 (写真②)



▲ 春宿舎の改善や社内学校設立などの当時の写真を多数掲示 (写真③)